

石原都知事の「爆弾テロ」を容認する暴言に対する謝罪と撤回  
に関する意見書

上記の議案を提出する。

平成15年 9 月26日

提出者

15番 山本ひとみ

9番 本間まさよ

14番 三宅英子

武蔵野市議会議長 田中節男 殿

石原都知事の「爆弾テロ」を容認する暴言に対する  
謝罪と撤回に関する意見書

石原都知事は、田中外務審議官の自宅に時限式爆弾が仕掛けられた事件で、去る9月10日に、「田中 均というやつ、今度爆弾を仕掛けられて当たり前の話だ」と発言、翌日も「いいか悪いかと言ったら悪いに決まっている。だけど彼がそういう目に遭う当然のいきさつがあるんじゃないですか」と主張しました。

爆弾を仕掛けられても当然という態度は暴力によって他人の言論や行動を封殺する行為を容認し、助長するものであり、民主主義とは相入れず、断じて許せません。

石原知事は、これまでも北朝鮮とは戦争も辞さないと言ってきており、今回の発言はこのような姿勢の延長線上にあると言えますが、政府の外交姿勢を批判することと、外務審議官の自宅に爆弾を仕掛けられて当然とすることは、まったく別の話です。

いうまでもなく、都知事は都民の安全に責任を負う立場にあり、このような発言は首都東京の代表者の発言としても、不適切であり、知事としての資格が厳しく問われる重大問題です。

よって、武蔵野市議会は都知事に対して、「爆弾をしかけられても当然」とする発言に対する謝罪と速やかな撤回を強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成15年 9 月 日

武蔵野市議会議長 田 中 節 男

東京都知事 あて